

チーム医療の質競う

川崎医科大 4病院40人参加

医師や看護師による チーム約40人が患者の
チーム医療の質を競う 容体が急変した時の対
「KAWASAKI 応や診断に挑んだ。

「CUP」が5日、倉敷 入院中の高齢男性
市松島の川崎医科大付 が、肝臓に膿がたまっ
属病院臨床教育研修セ ンターで行われ、県内
し、呼吸が苦しくなる
4病院から参加した7 という設定。5、6人

人形を使い、容体急変時の対
応を実践する医師や看護師



と人形に声を
掛けながら、
血中酸素濃度
や血圧を測定
して医療行為
を実施。カル
テを確認した
り、患者家族
から既往歴や
症状の変化を
聞き取りし
た。

最優秀賞に
輝いた笠岡第

のチームで、症状や検
査結果を見極め、対応
の的確さ、チームワー
クなどを5分間で競っ
た。
医師らは「痛いとい
ろはないですか」など
話した。

地域医療の質向上を
目的に2013年から
行っており、3回目。

(水嶋佑香)